

2020年12月1日

## タッチレスATMの実証実験開始について

株式会社広島銀行（代表取締役頭取 部谷俊雄）では、新型コロナウイルス感染症拡大防止へ向けた取組みの一環として、富士通株式会社（代表取締役社長 時田隆仁、以下「富士通」と）と、当行ATMによるタッチレスATMの実証実験を開始しますので、下記のとおりお知らせいたします。

タッチレスATMは、株式会社アスカネット（代表取締役社長 松尾雄司、以下「アスカネット」）の光学結像素子「ASKA3D プレート」を使った「空中ディスプレイ」方式と、富士通フロンテック株式会社（代表取締役社長 川上博矛、以下「富士通フロンテック」）の「非接触フレーム」方式の二通りの方式を採用します。

「空中ディスプレイ」方式および「非接触フレーム」方式を用いたATM取引は、ウィズコロナ時代のニューノーマルとして、画面に直接触れる必要がなく、お客さまにとって安心・安全なATM操作を目指したものです。

### 記

#### 【実証実験の概要】

	空中ディスプレイ方式※ <sup>1</sup>	非接触フレーム方式※ <sup>2</sup>
実施場所	広島銀行 本店営業部 (広島市中区紙屋町 1-3-8)	広島銀行 八丁堀支店 (広島市中区八丁堀 16-11)
開始時期 (予定)	2021年5月本店営業部の新店舗移転 オープンから	2020年12月から
内容・特徴	<p><b>(全国初)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ATMにアスカネット製「ASKA3D プレート」を取り付けることで、ATMの操作画面を空中に浮かび上がらせ、引出しなどの操作ができる環境をつくります。</li> <li>ディスプレイ上部の空中に浮かび上がった画面に触れることで操作ができるため、直接ATM画面に触れることなく、お取引が可能です。</li> </ul>	<p><b>(富士通製ATMにおいて全国初)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ATMに「非接触フレーム」を取り付けることで、操作画面に直接触れることなく、引出しなどの操作ができる環境をつくります。</li> <li>画面から数センチ程度離れた空中で指を動かすことでATMを操作できるため、直接ATM画面に触れることなく、お取引が可能です。</li> </ul>

※1・2 両方式は富士通フロンテックが開発を行います。詳細は別紙を参照してください。

以上

本件に関するお問い合わせ  
 株式会社 広島銀行 営業統括部  
 TEL (082) 247-5151 (代表)

## 「空中ディスプレイ」とは

空中ディスプレイとは、光の反射を利用することで空中に映像を表示させる技術のことをいい、空中結像技術とも言われます。特殊なメガネなどを用いず、肉眼で目の前に映像が浮かび上がります。

アスカネットが開発した空中結像を可能にする「ASKA3D プレート」を組み込んだ「空中ディスプレイ」ATM※注1は何もない空中にメニュー画面が表示され、お客さまが画面に直接触れることなくATMを操作できる仕組みです。

※注1：「空中ディスプレイ」ATMは、富士通フロンテックが開発を行います。

### ■「空中ディスプレイ」ATM外観イメージ



### ■「空中ディスプレイ」ATM画面イメージ



「ASKA3D プレート」

## 「非接触フレーム」とは

非接触フレーム※注1とは、従来のATM操作画面上に、赤外線センサーを搭載した特殊なフレームを取り付けることで、現行のタッチパネルから数センチ離れた状態で画面に触れずにATMの操作を実現します。

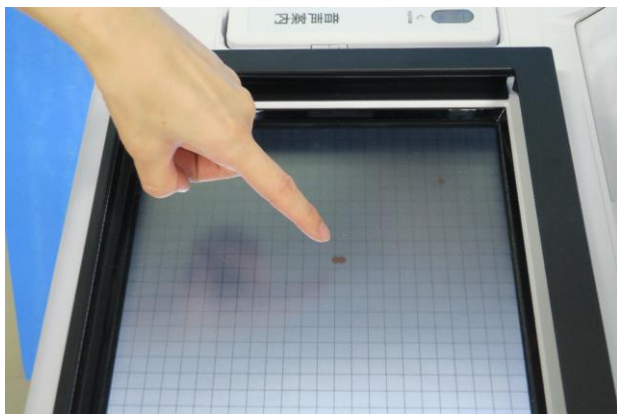
今回採用する非接触フレームは、指の検知ラインを上下で2段設けており、より精度の高い検知を実現します。お客さまはこれまでと同じ自然な指の動きでATMを操作することができます。

なお、従来のATM画面へのタッチも有効であるため、操作が難しいというお客さまにもこれまでどおり安心してご利用いただけます。

2段検知ライン方式である非接触フレームのATMへの採用は、全国初の取組みとなります。

※注1：ATMへの非接触フレーム搭載などの開発は、富士通フロンテックが行います。

## ■「非接触フレーム」取り付けイメージ



## ■2段検知ライン方式

- ・フレーム内に指が挿入された時、センサーが指を検知することで非接触操作が可能です。
- ・第1検知ラインに加えて第2検知ラインを設けることで、第1検知ラインから指を外さなくても操作が可能です。

